



# 渚滑っ子

学校HPコード



教育目標：人間性豊かな児童の育成

～気付き、築く子どもの育成～

令和6年8月26日発行

文責：校長 木村 智史

## 学校評価アンケートについて

保護者の皆様には、7月に実施した「保護者アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。今年度よりネット回答とし、85%の家庭に回答いただきました。記述欄には、子育てにおける悩み、本校職員の指導を価値付けてくださる内容が多く、職員と共有させていただきました。あくまでも、全体の傾向として数値が現れるものであり、一喜一憂するものではありません。今後もお子様、保護者と寄り添って教育活動を進めてまいります。ご支援・ご協力をお願いいたします。

## 令和6年度 紋別市立渚滑小学校 学校評価（三者比較）

【評価規準】 A 十分できている B 概ねできている C 少し不足している D 不足している  
 【数値】 A 100点 B 75点 C 50点 D 25点 （4段階評価を点数に変換）

※85点以上を「達成している」、80点以上を「おおむね達成している」と押さえております。

### 1 学びづくり

		保護者	児童
①	【保】 お子さんは、学習内容を理解していると思いますか。 【児】 【低】 ベんきょうがわかる、できるようになりましたか。 【中～高】 問題を解くために色々な方法を考えて解決することができましたか。	72	85
②	【保】 学校は、粘り強く考えたり、友達と関わったりする授業を通して、学びに向かう力を高める授業に努めていましたか。 【児】 授業で自分の考えをもち、友達や先生に伝えたりすることができましたか。	83	80
③	【保】 お子さんが、前向きに家庭学習（宿題・自主学習）に取り組む姿が見られましたか。 【児】 【低】 おうちでがんばって勉強することができましたか。 【中～高】 自主学習の中身を考え、取り組むことができましたか。	76	74
④	【保】 学校は、子どもが考えたり、まとめたりする手段の1つとして ICT を活用するように指導できていますか。（今年度より、子どもが家庭学習をする手段の1つとして選択できるよう、クロームブックの持ち帰りを始めました。） 【児】 勉強するとき、役に立つようにクロームブックを使うことができましたか。	78	85

### 2 心づくり

⑤	【保】 学校は、いじめがなく思いやりをもって人と接する態度を育むよう努めていましたか。 【児】 相手にいやな思いをさせませんでしたか。もしさせてしまったときに謝ることができるなど、友達に対して思いやりの心をもつことができましたか。	87	84
⑥	【保】 学校は、望ましい人間関係を構築するための心が育つような指導に努めていましたか。 【児】 友達と学習や行事に取り組むことを通して、友達のよさを見付けようと努力できましたか。	88	82
⑦	【保】 学校は、子どもが自分と向き合い、自分の感情や行動をコントロールできる力を高める指導・支援に努めていましたか。 【児】 自分の得意・苦手なことに気付き、先生や友達とがんばりを認め合うことができましたか。	83	82
⑧	【児】 道徳の授業で、心について考えることができましたか。また、生活の中で、意識したことがありますか。		79

### 3 体づくり

⑨	【児】 体育や遊びの場面で自分の課題に気付き、進んで運動に取り組むことができましたか。	89	
⑩	【保】 学校は、子供たちの安全に気を配り、心身ともに健康な生活を送ることができるよう努めていますか。 【児】 安全や健康について考え、楽しく生活できましたか。	87	89

## 4 家庭・地域との連携

⑪	【保】 学校は、保護者にとって連絡や相談をしやすく、子どものことで共通理解を図ることができていますか。 【児】 先生は、あなたが困っているときや悩んでいるときに話をきいてくれましたか。	83	90
⑫	【保】 学校は、学年・学級通信、学校だよりやブログなどを通して学校の様子を分かりやすく伝えることができますか。	90	

あなたは自分の携帯電話（スマホ）を持っていますか？ 持っている～53%

お家でスマホの約束を決めていますか？ 決めている～78%

### 保護者記述

○学校にいる全ての人がみんなで子ども達をみていてくれて親としても安心できる場所となっています。いつもありがとうございます。

○朝に校長先生が玄関前にいて児童と交流されていて身近な存在に感じました。"

○先生方はみんな親身になって話を聞いてくれたり、忙しい中、子どもたちと全力で遊んでくれたり、本当に感謝しています。ありがとうございます!!

○ICT の活用は、社会の要請であり抗うことは難しく、消極的利用として捉えています。商業主義も色濃く、利点が先走っている様に思いますので家庭ではあまり使用していません。

○先生方の大変な働きに感謝しています。見えないところでの働きや子供たちの成長に深く関わっていただき成長を助けて頂いていますので心より感謝しています。

○ひとりひとりに合わせてじっくり関わりを持ってくださる所が有り難いです。学校での様子など丁寧に教えてくださるので、本人の説明だけでは視えづらい課題を共有できて助かっています。

○先生方のフットワークの良さが、子供たちにとって非常に良い環境だと感じています。

○気付いてもらえる、ということで子どもも学校をより信頼していると思います。今後、行動の変化や正しい習慣の定着がなされ「築く子ども」になることを親として期待しています。

○あたたかい空間の中、のびのびと過ごせる環境は親として安心して毎日学校に送り出せます。

○体育館が使えない今、工夫して運動ができるスペースを作って頂けているのはとても素晴らしい発想だと思います。「廊下にマットを敷いて運動したんだよ!」「卓球部屋があるんだよ!」帰宅した子どもたちが目を輝かせて話す姿はとても衝撃的で嬉しく思いました。

○土日になると「早く月曜日にならないかなあ～!だって学校に行けるもん!」と言います。この言葉こそ、全ての答えかなとは思いますが。些細な相談もきちんと聞いてくれる先生方には私も感謝しています。これからも、いい意味で放置し考え気付き築く子を育てて頂けたらと思います。

○夏休み明けにエアコンは間に合わないのでしょうか?間に合わない場合、どのような暑さ対策を考えているのか知りたいです。

### 児童記述

○たのしいね

○みんながお世話してくれる

○みんななかよくくらしているのがいいとおもう

○あたらしい本をついかしてしてほしい

○みんなが優しい(こうして欲しいというところはない)

○家庭のことをみんなで考える時間が欲しい

○良いところ 人数が少ないからいじめがないし、他の学校ではできないお米作り体験ができる

○もっと色々な実験ができるようになりたい

○先生が優しく教えてくれるところがいいところ 理由優しく教えてくれたら嬉しいから

○いじめが無い(よい点)

○高学年になって児童会などやることが多くなって大変だから、休み時間を少し長くしてほしい”

○卓球 部屋を増やしてほしい なぜなら 使えない日とかがあるから みんなが困るから。

○体育館が新しくなっても 卓球部屋を残してほしい”

○休み時間を増やしてほしい→いろんな人といっぱいあそんでゆっくり準備する時間がほしいから。

○勉強をすぐに教えてもらえるように教室にいる先生を増やしてほしい

○授業がしやすい・クラブをやる当日にクラブをやる時間をはやめて全校でクラブをやりたい。理由・高学年が低学年との思いでを増やしたいから

○渚滑小学校のみんなは喧嘩がほとんどおこらない。理由は入学してすぐに仲良くなるから

○みんな仲が良い!・元気!・仲間外れ等のいじめがないこと・悪口言う人がいないところ

○渚滑小学校の先生や、生徒のみんなが楽しそうだし、みんなが優しい・本がたくさんある

○毎日が楽しいです!・クラブ活動・児童会で、みんなと関わったり、意見を伝え会える!”

## **【学校評価考察】**

### **1 学びづくりについて**

○ICT 端末の活用について、本校では、ICT を是が非でも利用させるという視点ではなく、電卓や国語辞典同様に、端末を使うことで「学習が効果的になるときにツールとして選択させる」というスタンスで指導しています。思考する子供たちの一助となるように指導してまいります。家庭学習について評価が低く、家庭での学習習慣が身に付いていないと判断するご家庭が高い結果となりました。学習課題を自分で決定し、解決まで自走できる子供の育成を目指してまいります。

### **2 心づくりについて**

○子供たちは自分と同じ(似た)考え、価値観の仲間を探し、一緒に時間を楽しもうとします。でも、社会において、そのような環境ばかりではなく、時には考え方が違う人物と協同すべき時があります。「相手意識」だけを大切にするのではなく、「自尊感情」自分らしさを表現できるように、他人とのかかわり方を指導、助言していきます。

### **3 体づくりについて**

○社会生活を送るうえで、体力向上は欠かすことができない要素です。体を動かす機会は減っていく世の中かもしれませんが、幼児期から児童期にかけていかに体を動かすのが重要です。体育の授業だけでなく、日常において、昆虫を追いかける、体育館で鬼ごっこ、ドッジボール、縄跳びなどをして汗をかき、「体育が好き!」という子供たちの育成を進めます。ご家庭でも健康促進について声掛けと指導をお願いします。

### **4 家庭・地域との連携について**

○子供だけでなく、保護者の皆様と学校の連携は学校経営の中でも重視している要素です。子供たちがたくましく成長するために、教科指導はもちろん、生活指導は両輪で進めていくべきだと考え、その時に必要な情報を共有することが、なにより効果的だと判断しています。学校ブログ、学級通信には筆者のメッセージがたくさん表現されています。今後も学校からの一方通行ではなく、相互共有をしていきたいと考えています。

### **5 情報教育について**

○スマホの所有率が全校児童の53%。多い少ないの論点ではなく、スマホをどう使っていくか問われています。便利な道具も使い方を誤れば、凶器にもなりますし自分をおとしめるツールにもなることは周知のことではないでしょうか。子供たちにとって身近なツールだから「使いこなせている」という勘違いをしないように、学校でも家庭でも指導が必要だと感じています。

## 二学期スタート

23日から二学期が始まりました。  
二学期も笑顔いっぱいの学校でいきましょう！

始業式では、「準備の大切さ」について話しました。

その後、各学級では、二学期の目標を設定したり、始業式の態度について振り返っていたり、子供たちの活動に価値付けをする指導をしていました。



それでは二学期も保護者、地域みなさん、よろしくお祈いします。

## 渚滑盆踊り

8月14日、渚滑地区盆踊りでは、PTAの方々に露店のご協力いただき盛大に終了しました。

途中、雨が降ってきましたが、多くの来客の姿がありました。

お手伝いいただいたPTAの方々の笑顔が印象的でした。

